

1998-(商)91 とがやま温泉地質調査

○調査、観測

		調査孔	砂質土	礫混り土	風化軟岩	軟岩 I	計
調査ボーリング	掘削長計	BV-1	0.0	8.0	1.3	2.7	12.0
		BV-2	0.0	4.8	0.0	2.2	7.0
		BV-3	0.0	9.6	0.0	2.4	12.0
		計	0.0	22.4	1.3	7.3	31.0 m

		調査孔	砂質土	礫混り土	風化軟岩	軟岩 I	計
調査ボーリング	φ66mm, コア	BV-1	0.0	4.0	0.8	2.7	7.5
		BV-2	0.0	2.8	0.0	2.2	5.0
		BV-3	0.0	0.1	0.0	2.4	2.5
		計	0.0	6.9	0.8	7.3	15.0 m

		調査孔	砂質土	礫混り土	風化軟岩	軟岩 I	計
調査ボーリング	φ66mm, ノーコア	BV-1	0.0	4.0	0.5	0.0	4.5
		BV-2	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0
		BV-3	0.0	9.5	0.0	0.0	9.5
		計	0.0	15.5	0.5	0.0	16.0 m

		調査孔	砂質土	礫混り土	風化軟岩	軟岩 I	計
調査ボーリング	φ116mm, ノーコア	BV-1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		BV-2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		BV-3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 m

		調査孔	砂質土	礫混り土	風化軟岩	軟岩 I	計
標準貫入試験		BV-1	0.0	8.0	1.0	0.0	9.0
		BV-2	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0
		BV-3	0.0	9.0	0.0	0.0	9.0
		計	0.0	21.0	1.0	0.0	22.0 回

ボーリング柱状図

JACIC 様式 Ge201

調査名

ボーリング No. B V 1 0 - 2

事業・工事名 1998-(商)93 とがやま温泉地質調査

ク-19b

ボーリング名	BV10-2	調査位置	兵庫県 養父郡 八咫町 湯野地内	北緯	
発注機関	兵庫県八咫町役場	調査期間	平成11年 3月 3日 ~平成11年 3月30日		東経
調査担当者	国土形質探検株式会社 電話 0796-62-7100	主任技師	八代 祐治	現代理人	台科 幸史
孔口標高	0.00m	方位	27°	試験機	KR100H
総掘進長	7.00m	方位	39°	エンジン	NFAJ-10
				ハンマー 錘下用具	ポンプ

掘進 尺高 (m)	層厚 (m)	柱状 図	土質 区分	色相 対照 密度	相対 密着 率	記 事	孔内 水位 測定 目日	標準貫入試験		原位置 試験 深さ (m)	試験名 および 結果 ($\times 1.00$)	試験 採取 番号	管内 試験 方法	掘進 月日
								10m 打撃 回数	打撃 回数 ノ 貫入 量 (kg)					
0.00	2.90		硬質粘土	黄褐色	中密	掘削機で掘削し、40cmの断面を有する。土質は硬質粘土で、粘着力は弱い。掘削時に土質が崩壊する。	3月12日	10	20	30	35			
2.90	1.90		中砂	黄褐色	中密	掘削機で掘削し、40cmの断面を有する。土質は中砂で、粘着力は弱い。掘削時に土質が崩壊する。	3月12日	10	20	30	35			
4.80	2.20		中砂	黄褐色	中密	掘削機で掘削し、40cmの断面を有する。土質は中砂で、粘着力は弱い。掘削時に土質が崩壊する。	3月12日	10	20	30	35			

ボーリング柱状図

MCIC 様式 Ge201

調査名

B-107No. BV10-3

事業・工事名 1998-〈商〉93 とがやま温泉地質調査

ボーリング名	BV10-3	調査位置	兵庫県 養父郡 八咫町 宮野地内	北緯			
発注機関	兵庫県八咫町役場	調査期間	平成11年 3月 3日~平成11年 3月30日		東経		
調査業者名	国土防衛技術株式会社 電話 0796-62-7109	主任技師	八代 裕治	代理人	古林 孝史	ボーリング責任者	森本 龍雄
孔口標準	0.00m	試錐機	KR100H	ハンマー	落下用具		
総掘進長	12.00m	エンジン	NFAD-1D	オンア			

